

# 東北 食料・農業・農村情勢報告

## <目次>

### 東北の食料・農業・農村の特徴

1 東北農業の動向	1
2 新たな食料・農業・農村基本計画(経営所得安定対策等大綱)	3
3 担い手育成・確保の取組	3
4 米政策改革の推進	4
5 食料自給率向上に向けた取組	4
6 国際コメ年の取組	4
7 構造改革特区・地域再生計画での取組	5
8 農林水産関係補助金改革(三位一体改革)	5
9 WTO等国际交渉の進展	6

### 第1部 東北 食料・農業・農村の動向

#### I 食料の安定供給の確保

1 食の安全と消費者の信頼の確保	7
(1)リスク管理体制の確立	7
ア リスク管理体制の整備状況	
イ トレーサビリティ・システムの確立	
(2)リスクコミュニケーションと消費者相談への対応	8
ア リスクコミュニケーションの推進	
イ 消費者相談等の取組	
(3)食品に対する消費者の信頼を確保するための食品表示の適正化	12
(4)農薬の適正使用	15
ア 農薬取締法に基づく行政処分等の実施	
イ マイナー作物に対する経過措置承認農薬の取扱い	
(5)食品安全性向上の取組	16

<b>2 望ましい食生活の実現</b> .....	<b>17</b>
(1)食生活の動向 .....	17
(2)食育の取組 .....	22
ア 食育基本法の制定	
イ 「食事バランスガイド」の普及	
ウ 食育推進協議会	
エ 食育支援活動	
オ 食育活動表彰事業	
<b>3 食料自給率向上に向けた取組</b> .....	<b>27</b>
(1)食料自給率の動向 .....	27
(2)東北地域における食料自給率向上の取組 .....	29
<b>4 地産地消の取組</b> .....	<b>34</b>
(1)産地直売所の設置及び利用 .....	34
(2)産地直売所等における地場農産物の活用 .....	34
(3)地産地消推進計画の策定 .....	35
(4)地産地消優良活動表彰 .....	36

## **Ⅱ 農業・食品産業の持続的な発展** .....

<b>1 農業経営の動向</b> .....	<b>37</b>
(1)農家経済を巡る動き .....	37
(2)農家数と農業労働力 .....	39
<b>2 担い手の育成・確保</b> .....	<b>44</b>
(1)認定農業者の育成 .....	44
(2)集落営農組織の育成と法人化の推進 .....	45
(3)新規就農者の確保 .....	47
(4)農業経営への女性の参画 .....	48
(5)高齢農業者の活動の促進 .....	50
<b>3 農地の有効利用</b> .....	<b>51</b>
(1)農地利用の動向 .....	51
(2)農地の流動化の動向 .....	55
(3)異業種の農業参入 .....	58
<b>4 米政策改革の推進</b> .....	<b>59</b>
(1)地域水田農業ビジョンの策定、実施 .....	59
(2)東北農政局の取組 .....	60

(3)水田農業構造改革対策の取組 .....	62
ア 産地づくり対策と特徴的な取組	
イ 担い手経営安定対策の加入状況	
<b>5 農業生産の動向(品目別) .....</b>	<b>63</b>
(1)米 .....	63
(2)麦・大豆・そば .....	71
ア 麦	
イ 大豆	
ウ そば	
(3)野菜 .....	80
(4)果樹 .....	86
(5)畜産・飼料作物 .....	89
ア 乳用牛	
イ 肉用牛	
ウ 中小家畜	
エ 飼料作物等	
(6)花き及び地域特産物 .....	95
ア 花き	
イ たばこ	
ウ ホップ	
エ その他特産作物	
<b>6 ニーズを捉えた販売(特徴的な取組) .....</b>	<b>99</b>
(1)米 .....	99
(2)麦 .....	101
(3)大豆 .....	103
(4)そば .....	104
(5)野菜 .....	105
(6)果樹 .....	107
(7)畜産物 .....	109
<b>7 自然循環機能の維持増進 .....</b>	<b>109</b>
(1)環境保全型農業の推進 .....	109
ア 農業環境規範の制定	
イ 環境保全型農業の具体的な取組	
ウ 農業用使用済プラスチックの適正な処理	
エ 家畜排せつ物の適正処理	
(2)バイオマス利活用の取組 .....	116
ア 東北のバイオマス利活用の現状	

イ	関係機関連携による推進体制	
ウ	バイオマスタウン構想の策定状況	
エ	廃棄物系バイオマスの利活用	
オ	未利用バイオマスの利活用	
カ	資源作物の利活用	
(3)	容器包装リサイクル法	124
<b>8</b>	<b>農業生産基盤の整備</b>	<b>124</b>
(1)	農業農村整備事業の推進	124
ア	農業の構造改革の加速化に資する基盤整備の推進	
イ	農業水利施設等の適切な更新・保全管理	
ウ	災害に強い農業・農村づくり	
エ	コスト縮減対策の推進	
(2)	国営土地改良事業地区における営農推進	128
(3)	土地改良区組織の現状と課題	129
<b>9</b>	<b>農業協同組合の動向</b>	<b>130</b>
(1)	農協改革と組織整備の状況	130
(2)	農協事業の動向	131
ア	信用事業における取組状況	
イ	経済事業における取組状況	
ウ	共済事業における取組状況	
エ	指導事業における取組状況	
(3)	農協経営の概況	134
(4)	農業制度資金を巡る動向	134
<b>10</b>	<b>農業と食品産業との連携</b>	<b>135</b>
(1)	食料産業の構成とその動向	135
(2)	食料産業クラスター形成に向けた取組	137
<b>11</b>	<b>新技術の開発・普及</b>	<b>139</b>
(1)	産学官連携による技術開発	139
(2)	農業キーテクノロジー等の新たな技術の普及・推進	141
(3)	東北農業研究センター等による研究開発	141
ア	ギャバ含有量の多い発芽玄米用品種「恋あずさ」	
イ	直播栽培に適する稲発酵粗飼料品種「べこあおば」	
ウ	青臭さやえぐ味の少ない大豆品種「きぬさやか」	
エ	水田輪作の大豆作安定化のための「有芯部分耕栽培技術」	
オ	キャベツ・はくさい作における「うね立て同時部分施用技術」	
カ	地域自給飼料を活用した肉用牛生産は地球温暖化負荷が低い	

<b>12 輸出促進の取組</b> .....	<b>143</b>
(1) 東北地域農林水産物等輸出促進協議会 .....	143
(2) 東北産の輸出 .....	144
(3) 産地の売込み .....	145

### **Ⅲ 豊かで住みよい農村の振興** .....

<b>1 農村地域の現状</b> .....	<b>147</b>
<b>2 中山間地域等の振興</b> .....	<b>149</b>
(1) 中山間地域の現状 .....	149
(2) 中山間地域等直接支払交付金 .....	151
(3) 山村等振興対策 .....	154
(4) 中山間地域の総合整備 .....	156
<b>3 地域資源の保全管理政策の構築に向けた取組</b> .....	<b>158</b>
<b>4 美しいむらづくりと定住の促進</b> .....	<b>159</b>
(1) 農道の整備 .....	159
(2) 農業集落排水の整備 .....	160
(3) 地域用水機能に配慮した農業用水路の整備 .....	161
(4) 美しいむらづくりに向けた整備 .....	162
<b>5 都市と農村の共生・対流</b> .....	<b>165</b>
(1) 共生・対流の動向 .....	165
(2) グリーン・ツーリズム .....	168
(3) 市民農園 .....	168

### **Ⅳ 農業災害の状況** .....

<b>1 災害による農業被害の概要</b> .....	<b>171</b>
<b>2 台風による被害</b> .....	<b>173</b>

## 第2部 集落を基盤とする組織経営体育成 に向けた東北の動き

### I 東北の農業生産、農業労働力の状況

- 1 農業産出額の減少 .....175
- 2 農家数、農業後継者の減少と農業労働力の高齢化 .....176
- 3 耕作放棄地の増加と耕地利用率の低下 .....178
- 4 担い手となる農家が減少 .....179
- 5 認定農業者の増加 .....181

### II 集落営農の現状と組織化のメリット

- 1 育成すべき担い手としての集落営農組織の現状 .....182
  - (1)増加する集落営農組織 .....182
  - (2)集落営農組織の特徴 .....183
  - (3)集落営農に取り組む法人の概要 .....187
- 2 組織化によるメリット(作業の効率化とコストの削減効果) .....190
- 3 品目横断的経営安定対策に向けた条件整備 .....192

### III 集落営農の組織化を進めるに当たってのポイント

- 1 集落営農組織化の課題 ～リーダー育成が課題～ .....197
- 2 集落を基盤とした組織経営体(集落営農)の育成方向 .....199
- おわりに ～ 集落を基盤とする組織経営の可能性 ～ .....207
- 用語解説 .....209